

小樽商科大学 卒業論文 (昭和29年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和29	327	(翻訳) ヴァイナー: 国際貿易理論の研究 第八章 貿易からの利得・比較生産費原理	
昭和29	328	ドル不足について	
昭和29	329	フランスの外国投資の実際とその効果 1880~1913 -H.D.ホワイトのフランスの国際収支- (抄訳)	
昭和29	330	貨幣賃銀の伸縮性と雇用 -ピグウ対ケインズの主たる係争点の性格-	
昭和29	331	最適経済構造の数学的モデルとその限界	
昭和29	332	ケインズとマルクス 二つの経済学の接近と交渉 -J.ロビンソンの所説を中心として-	
昭和29	333	J.S.ミルに於ける国際均衡論についての考察	
昭和29	334	資本主義社会に於ける完全雇用	
昭和29	335	厚生経済学における厚生概念について	
昭和29	336	長期停滞理論に関する諸問題	
昭和29	337	利子率決定理論の研究	
昭和29	338	ミード: 国際収支 第一章~第五章 (翻訳)	
昭和29	339	J.ヴァイナー: 『国際貿易理論の研究』第六章 単純正貨下の国際均衡 (択出)	
昭和29	340	資本主義の現在及び将来に対する若干の考察	
昭和29	341	後進諸国に於ける資本形成の諸問題	
昭和29	342	J.ヴァイナー: 国際貿易理論の研究の抄訳	
昭和29	343	外国為替市場安定問題に関する一考察(The exchange stability problem. By G.Stuvellについて)	
昭和29	344	J.Viner: The international mechanism in relation to modern banking process. - studies in theory of international trade Chap. VII.	
昭和29	345	ホートレイ: 国際収支均衡対策の可能性と限界性	
昭和29	346	財政政策に関する一考察(政府支出政策を中心として)	
昭和29	347	デュゼンベリー: 消費理論に於ける二大特質	
昭和29	348	O.ランゲ: 利子率及び最適消費性向 (F.モディリアニ)流動性選好及び利子及び貨幣論	
昭和29	349	経済発展と外国貿易に関する消極的究明 -J.バイナーの理論を中心に-	
昭和29	350	グレアムの国際価値論	
昭和29	351	近世農村の社会構造	
昭和29	352	アメリカ産業革命の特質 -木綿工業を中心として-	
昭和29	353	幕末維新に於ける豪農についての一考察 -東北地方を中心として-	
昭和29	354	ハロルド・ラスキ研究	
昭和29	355	日清戦争後に於ける恐慌史論	
昭和29	356	英国に於ける一三八一年の農民一揆	
昭和29	357	国人と守護大名	
昭和29	358	日本に於ける近代ナショナリズムの発生	
昭和29	359	トーマス・マンに於ける重商主義	
昭和29	360	フランスに於ける近代資本主義の起源	
昭和29	361	徳川時代における「前期的資本」発展及びその特殊的発展の必然性についての考察	
昭和29	362	ヒックス景気循環論に関する一研究	
昭和29	363	所得決定とM.カレッキー独占度理論	
昭和29	364	利子・流動性選好及び貨幣	
昭和29	365	国際貿易論の展開と交換価値に就いて	
昭和29	366	近代景気循環理論 -特に乗数と加速度原理の総合を中心として-	
昭和29	367	経済学研究序説 -ケインズ及びハロッド理論の示唆するところ-	
昭和29	368	長期的停滞の理論	
昭和29	369	景気循環論に関するノート	
昭和29	370	経験科学としての経済学 -その理論の為の方法に関する若干の覚え書-	
昭和29	371	近代経済学に於ける貨幣賃銀率と雇用	
昭和29	372	日本経済の成長率に関する研究	
昭和29	373	ティンバーゲンの景気循環理論に関する考察	
昭和29	374	後進国における資本形成の諸問題	
昭和29	375	近代経済学における貨幣の位置 -ケインズを中心に-	

小樽商科大学 卒業論文（昭和29年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和29	376	近代雇用理論序説	
昭和29	377	ハイエクの貨幣的過剰投資理論	
昭和29	378	景気循環理論 -ハロッド及びヒックスの所説を中心として-	
昭和29	379	厚生経済学への一考察	
昭和29	380	雇用理論の潮流 -ケインズ雇用理論は一般均衡理論に於いて如何に解釈され、展開されたか-	
昭和29	381	経済理論と経済政策	
昭和29	382	ケインズ賃金論とその展開	
昭和29	383	複占理論の発展と其の動向について	
昭和29	384	国家と経済	
昭和29	385	リカルド価値論の研究	
昭和29	386	P.スウィージーの恐慌論について	
昭和29	387	J.A.シュムペーターの「均衡理論」及び「発展理論」に関する一ノート	
昭和29	388	ケムブリッジ学派の均衡理論について	
昭和29	389	停滞理論	
昭和29	390	恐慌に関する一考察	
昭和29	391	ケインズの物価理論	
昭和29	392	ピグー厚生経済学の基礎理論	
昭和29	393	ケインズ利子論	
昭和29	394	成長率概念の検討を中心とする一論	
昭和29	395	賃銀切下げとその雇用効果	
昭和29	396	投資量決定(雇用量)と「資本の限界効率」	
昭和29	397	現代雇用理論の展望	
昭和29	398	スミス資本論の研究	
昭和29	399	企業会計原則の法的効果についての若干の考察	
昭和29	400	企業利益概念の研究 -企業利益の万能目的概念論に反対する考察-	
昭和29	401	企業利益と厚生	
昭和29	402	暖簾論	
昭和29	403	発生主義について	
昭和29	404	原価償却と資本蓄積	
昭和29	405	資本剰余金をめぐる税法と企業会計原則についての一考察	
昭和29	406	費用収益対応の原則について	
昭和29	407	独立採算制論	
昭和29	408	経営比較方法論	
昭和29	409	動的貸借対照表を支える二継続性の原則の考察	
昭和29	410	費用収益対応の原則の一考察	
昭和29	411	経営分析に関する一省察	
昭和29	412	グッドウィルは償却資産か	
昭和29	413	会計原則上から見た保守主義についての一考察	
昭和29	414	企業会計と社会会計	
昭和29	415	キャピタルゲインを契機として課税所得の本質について	
昭和29	416	二標準原価計算の経営管理機能	
昭和29	417	会計原則について	
昭和29	418	資本剰余金の原則と資本準備金制度について	
昭和29	419	限界原価に関する一考察 -シュマレンバッハの限界原価を中心に-	
昭和29	420	減価償却評価論	
昭和29	421	費用と操業	
昭和29	422	暖簾についての本質的考察 -動態論における暖簾の再考察-	
昭和29	423	貨幣価値変動と評価基準	
昭和29	424	資本剰余金の本質と資本準備金制度 -会計理論と商法・税法との調整に関する新しい示唆-	
昭和29	425	標準比率分析法の展開と批判	
昭和29	426	利益図表の利益管理への利用	
昭和29	427	管理会計の基本問題についての若干の考察	
昭和29	428	減価償却の意義に関する一考察	
昭和29	429	無過失責任論 -過失主義と無過失主義を対比して-	
昭和29	430	近代法における金銭債権の優越的地位についての一考察	

小樽商科大学 卒業論文（昭和29年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和29	431	商法自主性の周辺に存する問題に就いての若干の考察	
昭和29	432	不法行為 -解釈論-	
昭和29	433	海上保険に於ける「告知義務」	
昭和29	434	基礎的資料に基く日本貿易の短期的視野 -その研究態度の表明を兼ね	
昭和29	435	国際貿易と国民所得について	
昭和29	436	東南アジア経済開発と日本貿易	
昭和29	437	スターリング地域の構造と地位	
昭和29	438	日本貿易の動向及びその分析	
昭和29	439	資本輸出の戦後日本に於ける展開	
昭和29	440	日中貿易問題に関する研究	
昭和29	441	日本貿易の分析	
昭和29	442	株主権の本質に関する若干の考察 -共益権を中心として-	
昭和29	443	株式会社法に於ける株主の地位(主としてアメリカ法との比較において)	
昭和29	444	現行商法中資本構成規定概観	
昭和29	445	会社法に於ける企業維持の思想	
昭和29	446	株式会社資本の法学的考察	
昭和29	447	企業体制の動向と株式会社法 -労働株制度及び経営自主体の考察を中心として-	
昭和29	448	アメリカ株式会社の特色 -資本に関する法則の弾力性-	
昭和29	449	海商法の特異性とその意義	
昭和29	450	日本経済の法的展望	
昭和29	451	ケルゼン法学とその批判	
昭和29	452	社会法の地位 -特に経済法中心にして-	
昭和29	453	日米取締役会の比較論	
昭和29	454	禁反言則の一般概念 附.法人の存在と禁反言に関する概説	
昭和29	455	米国会社法に於けるアルトラ・ヴァイアリーズ理論を廻る若干論察	
昭和29	456	プロフィット・マネジメントに関する一考察	
昭和29	457	労働組合	
昭和29	458	近代経営に於ける諸問題 -特にコントローラー制度の展開として-	
昭和29	459	労使関係について	
昭和29	460	品質管理の範囲と対象	
昭和29	461	資本と経営の分離に関する一考察 -企業体制の発展をめぐって-	
昭和29	462	企業経営の合理化 -内部統制及びコントローラー制度に関して-	
昭和29	463	経営参加制の概観	
昭和29	464	株式会社における所有と経営の分離について	
昭和29	465	コントローラーの資料提供機能と内部報告制度 -コントローラー制度の日本的あり方を中心として-	
昭和29	466	広告とは何ぞ	
昭和29	467	販売予測 -近代企業経営合理化の一方策として-	
昭和29	468	メイヨー一派の人間関係研究と労働組合	
昭和29	469	賃金問題への一考察 -賃金と労使関係-	
昭和29	470	広告活動の科学化 -主として広告企画の合理化について-	
昭和29	471	本道中小工業の考察	
昭和29	472	トップ・マネージメントに就いての一考察 -その機能体系を中心として-	
昭和29	473	販売促進と消費者需要	
昭和29	474	近代百貨店企業に於ける問題点	
昭和29	475	市場調査と販売政策	
昭和29	476	農業協同組合経営に関する一考察	
昭和29	477	証券発行市場	
昭和29	478	販売施策に於ける販売割当の一考察	
昭和29	479	証券取引所に関する一考察 -その職務に関連して-	
昭和29	480	現代卸商経営に対する若干の考察	
昭和29	481	吾が国中小工業の存立性に関する一考察	
昭和29	482	近代的販売経営に於ける広告の諸問題とP.R.の基礎概念	
昭和29	483	販売管理についての一考察	
昭和29	484	小売商経営に於ける販売の合理化について	
昭和29	485	価格政策論	

小樽商科大学 卒業論文（昭和29年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和29	486	販売計画	
昭和29	487	中小商業の在立基盤に関する一考察	
昭和29	488	A.D.H.キャプラン「小企業 -その地位と問題-」	
昭和29	489	商品取引所の機能に関する一考察 -危険転嫁機関としての機能-	
昭和29	490	広告媒体論 -広告活動からみた媒体の一考察-	
昭和29	491	P.R. に関する若干の考察	
昭和29	492	経済理論と貨幣理論との遊離に関する問題 -ウイクセル及びハイエクを中心として-	
昭和29	493	資本蓄積に関する理論 -古典派より貨幣論を辿って-	
昭和29	494	ケインズの貯蓄投資理論	
昭和29	495	購買力平価説を中心とする為替相場決定理論に関する若干の考察	
昭和29	496	デヴィッド・リカルドの地代理論 -彼の価値論と相関聯して-	
昭和29	497	公債史の研究	
昭和29	498	安定の意義及び安定貨幣の理論に関する若干の考察	
昭和29	499	ハンセンを中心とする長期沈滞理論の研究	
昭和29	500	利子率決定理論とその現代的評価 -貨幣的利子論と実物的利子論との統合に関する一試案-	
昭和29	501	オーストリア学派における資本理論と動態理論	
昭和29	502	信用と景気理論	
昭和29	503	均衡為替相場に関する一考察	
昭和29	504	財政及び貨幣政策の関係について -財政の新しい役割-	
昭和29	505	利子率決定の根本原理を究む -流動性選好理論を中心として-	
昭和29	506	インフレーションと景気理論	
昭和29	507	現代利子論の動向に関する考察	
昭和29	508	ミーゼス「貨幣及び流通手段の理論」の研究	
昭和29	509	フィッシャーの貨幣数量説	
昭和29	510	貨幣理論の近代的接近に関する方法的考察	